

南アルプス鋸岳 (2685M)

2009/8/22 (土) ~23 (日) N氏と

8/22 豊科 IC 5:50~7:10 (104KM) 戸台川ゲート 7:30~9:40 角兵衛沢入り口 9:50~11:55 大岩下の岩小屋 (テント~N氏、私はツエルト) 泊

8/23 5:50~7:15 角兵衛沢の頭 7:25~7:40 鋸岳 9:05~10:45 大岩下の岩小屋 (テント撤収) 11:00~12:30 沢入り口 13:00~14:30 ゲート P 以下不明。

延期になっていた鋸岳だが今回もあまり良い天候ではないが一応登山口まで行ってみる事になる。途中で雨も上がり、ゲートの駐車場へ着く。河原で2台の先客あり。歩きづらい河原の中を角兵衛沢の分岐目指して歩く。単調だ。ほとんど高度差もない。分岐を見逃さないように注意したが案内標もあり、渡渉箇所を決めて対岸に渡る。天候も回復してきた。甲斐駒ヶ岳も見える。今日の宿泊場所の大岩下の岩小屋へ向かうべく樹林帯の道を登る。

登山口です



河原歩きから解放される分岐



タカネビランジ咲く大岩下の岩小屋



大岩下のテント場



予想以上に踏まれた道だ。途中で横岳方面への分岐があった。地図上には載っていないが。途中で休んでいると下山してくる夫婦？らしき2人組みに会う。わたしはすぐに「大岩下のテント場に先客はいましたか？」と聞いた。今日は土曜日でそのテント場はせいぜい3張りしか張れないようなので私はそれが今回一番心配である。「いや無かったです。私達は昨日あそこでテン泊しました」との返事。私は思わず「良かった！」と心の中で叫んだ。男の方はとても大きなザックを背負っているのが印象的だった。帰宅後数日経って驚きました。私が初めて登山する山は事前に必ずネットで検索しますが、比較的分かりやすく、写

真も載っているような HP のもの何人かをお気に入り登録して参考にしていますが、何とその中の一人が鋸岳に同じような日に登山しているので開けてみたら、その中の千葉県の S さんの文章に其のことが記載されていました。「鋸岳から下山途中で 2 人の中高年者に合ったが、その一人が開口一番にテン場の事を聞いた」と。やはり S さん達は仲の良いご夫婦であちらコチラ登山をされています。そろそろと注意していたら右側に大きな切り立った岩場が見えてきた。踏み跡を右折すると矢張り、テン場だった。不思議だが情報どうり岩から 3 ケ所ほど水が染み出ている。早速私は缶ビールを冷やす。とても冷たい水だ。何と頭上にはタカネビランジが何株か咲いている。岩小屋とは言うものの下部が少しえぐれているだけである。でもそれが落石や雨を防いでくれる。N 氏は 300 名山達成の為に購入したテントの初使用。私は持っていないので、ツェルトだ。雨風の心配ないので時期的にも OK。冷たい水はあるしここは良いテン場だ。2 人で会話しながら飲み始める。N 氏があまり酒を飲まないのが残念だが。眼前には中央アルプス南部の山々や恵那山が大きく見える。そういえば今日は新潟の S さんが恵那山で 100 名山完登達成の予定だ。おめでとう！と乾杯する。夕暮れまでノンビリ過ごす。とうとうほかには来なかった。酒も少ししか持ってこなかったのだから（反省）早く寝る。

念願の鋸岳山頂。右北岳、左甲斐駒ヶ岳



右仙丈ヶ岳、左北岳、手前は甲斐駒ヶ岳への難所



角兵衛沢の頭手前の急登。中央は南アスパー林道



23日 軽身で出発する。段々傾斜がきつくなり、大きな石が全面的に斜面を埋めつくし、歩きにくい道を角兵衛沢の頭目指して登る。急な登りには強い？のでそんなに苦にならずに頭に到着する。山頂まではすぐ。山頂からの展望は素晴らしい。甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、鞍掛山、雨乞山など 360 度。この比較的難しい山を目指す多くは 200 名山派。山梨 100 名山派。である。私は信州 100 名山の為に。コースは一番難関の甲斐駒からのルート。比較的距離が長いが危険個所のない長野県富士見からの釜無川ルートなど幾つかある。後着した 60 代後半組は釜無川ルートとの事。山梨 100 名山派との事。ヘルメット着用がチョットアンバランスな感じだが。安全第一か。ユックリ休んで下山。途中何組かとすれ違う。角兵衛沢の出会いでテン泊組みが多い感じだ。